



## 講演会「福島廃炉、環境回復に関する化学研究開発の最前線およびその展開」

主催：日本化学会関東支部

協賛：原子力学会、環境放射能除染学会、環境科学会、廃棄物資源循環学会、日本エアロゾル学会、日本アイトープ協会(予定)

会期 平成27年8月28日(金)

会場 日本化学会7階ホール(東京都千代田区神田駿河台1-5)

[交通]JR、地下鉄とも“御茶ノ水”駅下車、徒歩5分

趣旨 東京電力福島第一原子力発電所事故により、同発電所の廃炉、汚染水対策、環境回復等、世界にも前例のない困難な課題への対処が求められています。本講演会では、廃止措置や環境回復等のロードマップに基づく全体戦略について紹介するとともに、その中で重要な役割を果たす“化学”研究や“化学”技術開発の最前線、そして将来展望についてそれぞれ紹介します。さらに本講演を通じて、最先端の“化学”に関する理解を深め、新機能材料や新技術の開発の一助となるよう解説していただきます。

### プログラム(案) 講演 50分、質疑応答 10分

10:00-11:00 廃止措置－全体戦略と化学の貢献－

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 技術グループ 執行役員 沼田 守 氏

11:00-12:00 除染から中間貯蔵へ ～技術的課題と展望～

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫政浩 氏

12:00-13:00 昼食休憩

13:00-14:00 福島第一原発内の汚染水処理のための放射性物質除去用吸着繊維の開発

～投入・回収・保管に適した吸着繊維の放射線グラフト重合による製造～

千葉大学大学院工学研究科 教授 斎藤 恭一 氏

14:00-15:00 放射光等および第一原理計算を用いる粘土鉱物への Cs 吸着機構解明

～福島土壌の Cs 保持特性から考える安心と多量の土壌廃棄物の処理をどうするか？～

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究センター 放射光エネルギー材料研究ディビジョン ディビジョン長 矢板 毅 氏

15:00-15:20 休憩

15:20-16:20 大気中を輸送される放射性物質の physico-chemical な特性と地表への沈着

国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境管理研究部門 大気環境動態評価研究グループ 主任研究員 兼保直樹 氏

16:20-17:20 植物 RI イメージング技術による農業生産物の汚染リスク低減に向けたアプローチ

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究センター バイオ・医療応用研究ディビジョン植物 RI イメージング研究グループ グループリーダー 藤巻 秀 氏

17:20-17:50 名刺交換

**参加費** (税込) 会員(協賛学協会会員) 10,800 円、学生会員(協賛学協会学生会員) 1,080 円、非会員一般 16,200 円、非会員学生 3,240 円。ただし、参加者自身が非会員でも勤務先が本会法人正会員の場合は、会員参加費(10,800 円)でご参加いただけます。

**定員** 110 名(先着順)

**参加申込方法** 日本化学会関東支部 HP (<http://kanto.csj.jp/>) の専用フォームからお申込みください。E-mail、ファックス、またはハガキでの申込も受け付けます。『福島廃炉、環境回復に関する化学研究開発の最前線およびその展開』参加申込書』と表記し、1) 参加者氏名(ふりがな)、2) 会員種別〔会員(会員番号)・学生・非会員・法人会員〕、3) 勤務先・部署名(役職名)、4) 連絡先〔郵便番号・所在地・電話番号・電子メールアドレス・勤務先か自宅かの別〕、5) 参加費金額を明記のうえ、下記宛お申込ください。

**支払い方法** 原則、振込です(振込先：三井住友銀行神保町支店 普通預金 口座番号 2102601 名義：公益社団法人日本化学会関東支部)。翌月末までにご送金願います。振込手数料はご負担下さい。

**申込先** 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 公益社団法人日本化学会関東支部 講演会係

詳細 [http://kanto.csj.jp/index.php?key=mueyfbntx-159#\\_159](http://kanto.csj.jp/index.php?key=mueyfbntx-159#_159)

申込フォーム <https://event.csj.jp/form/view.php?id=90552> (QRコード)



以上